



埼玉医科大学 総合医療センターニュース

SAITAMA MEDICAL CENTER NEWS

NO.

43

2016
May

CONTENTS

ご紹介

小児科 長田 浩平 P-2

トピックス

総合医療センター開設30周年を迎えて P-4
当院医師が人命救助に協力し感謝状を贈呈される！ P-4

ご紹介

認定看護師のご紹介 ... 青山 京子/吉田 和代 P-5

お知らせ

健康に役立つお話 診療サービス委員会 P-6

トピックス

平成28年度診療報酬改定について 医務課 P-7

教室シリーズ

かるがもの集い 周産期センター P-8

連載

5月5日はこどもの日（端午の節句）です 栄養部 P-9

放射能と放射線 中央放射線部 P-10

お知らせ

駐車場のご利用について 総務課 P-11

外来受診について/面会者へのお願い P-12

社小江戸川越観光協会



基本理念

安全で質の高い医療を提供し、
地域から信頼される医療機関を目指します。

小児科

助教 長田 浩平

“未来”をつくる手助けを

こどもは未来の主役です。

我々小児科の医師達は多様化する病気に対して、各々の専門性を持ち寄り、総合病院としての利点を生かして他科の先生の力をお借りし、胎児から新生児・乳児・小児まで、救急から在宅支援までとあらゆる方面に対応し、また、ご家族をサポートする事で“未来”を作る手助けを行っています。

◆県内唯一の高度施設群

埼玉県720万人、川越市及び近隣市街の中核病院の役割を担っている当センターは

- ① 総合母子周産期センター
(お母さんや赤ちゃんの最後の砦)
- ② 高度救命救急センター
(救急医療の最後の砦)
- ③ ドクターヘリ基地
(県内唯一の運用基地)
- ④ 小児在宅支援専門施設
(重症心身障がい児の在宅移行支援)

を併設している県内唯一の施設です。

◆部門紹介

一般小児部門

神経・血液・内分泌・免疫・腎臓・救急を専門した小児科医とそれを目指す若手医師が協力しながら、夜間も複数の当直医を設定し24時間365日、年間3万名の外来診療を行っています。また49床の病床で年間1400名以上の入院対応を行っています。その中には胃腸炎・脱水・肺炎や川崎病・喘息など小児が罹患しやすい一般的な疾患に加えて、白血病や糖尿病・ネフローゼ・てんかんなどの専門治療にも対応しています。またさらに、脳外科・小児外科・整形外科・ER科・救命センターと連携して外科疾患の全身サポートも行います。新生児部門から在宅移行するにあたり、ご家族の技術習得支援や各種調整などの橋渡しの役割も担っています。

新生児部門

重症新生児専用のICU (NICU) 48床とその後のフォローアップ病床 (GCU) 30床の国内最大規模の当施設は、東洋でも有数の規模を誇ります。産科、新生児科、小児外科、産科麻酔科、周産期循環器科、薬剤部等のチームワークを主に、5名の新生児集中ケア認定看護師がおり、NICUで活動する臨

床心理士、リハビリテーション、など多職種が協働する場となってきました。

周産期医療では低出生体重児、病的新生児が適切な治療を受けたのち、母子、家族とともに幸せな社会生活が送れるようになることが目標です。埼玉県では年間約6万人の出生数があり、現在医療的ニーズのある治療が必要な母体胎児、新生児の一人でも多い対応を目指して施設の充実、拡大に取り組んでおります。増築したNICUは機能をさらに拡大して発展し、長期入院児の家族との生活視点を広げる在宅医療への積極的な取り組みも進め成果をあげています。

母子が共に幸せになるための多くのスタッフの関わりは、若い医師、学生にも是非実感してもらいたいと願っており、学生教育、研修医教育への取り組みにも力を入れています。赤ちゃんの成長の素晴らしさを医療スタッフとともに分かち合いながら、新生児、新生児医療の素晴らしさを共に感じたいと考えています。

(側島久典教授)

小児循環器

小児循環器科は主として先天性心疾患（心臓の形態異常）、川崎病後の冠動脈異常の管理、学童期の不整脈等を扱っております。まず、お母さんの胎内にいる赤ちゃんのエコー診断を行い、ご両親の疾患理解をサポートし治療方針を共に考えるところから我々の仕事は始まります。生後の診断・治療を外科専門施設とご相談で乗り切った後も、遠隔期の状態把握・心不全管理等を、ご本人やご家族とともに行います。この際、心エコー・心臓カテーテル検査といった従来からある評価法はもちろん、最先端の心臓MRIによる非侵襲的な心機能評価も積極的に取り入れております。このお付き合いは症例によって成人期に至っても続きます。更に医療的活動のみでなく、こどもたちを対象とした心臓教室、親御さんを対象とした疾患セミナー、生活の場でこども達をお世話して下さる学校の先生方との懇談会等々も積極的に開催し、トータルとして「心臓病のこどもさんの全人生に関わる医療」を目指し、広く社会的にお役にたつべく、日夜努力いたしております。小児の心臓に関わることでお困りのことがございましたら、どうぞお気軽にご相談ください。

(岩本洋一先生)

研究部門

研究部門では小児免疫研究グループ、新生児慢性肺疾患研究グループ、新生児脳障害研究グループの各グループが研究を行っています。小児・新生児の特徴的な疾患についての病態解明、新しい治療法などの研究を行い、将来的に臨床に役立てていくことを目的としています。大学院にて博士号を取得することも可能です。

(難波文彦先生)

小児救急・集中治療部門 (PICU)

2016年3月より新たに開設された部門です。近年、海外・国内ともに、高度救命救急センターとPICUとの連携により治療成績が向上するとの研究がされています。残念ながら両施設を有する病院は非常に少なく、救急車やドクターヘリで救命センターからPICU病院へ搬送しているのが現状です。当院では高度救命救急センターの新病棟3階にPICUを開局することで、全国でも小児救命センターとして9番目の専門施設となりました。喘息重積発作などの急性呼吸不全に対する人工呼吸器管理や、脳炎・脳症の治療、緊急透析など集中治療管理を行っております。また、ER科や高度救命救急センター・脳外科・小児外科との連携し、外傷患者へも小児科医の視点から積極的に介入します。



PICU病棟

在宅支援部門

先天性疾病や新生児仮死、脳炎脳症、突発的な事故などにより一命は取り留めたものの、人工呼吸器や胃管・胃瘻栄養を含めたケアを必要としている子供達があります。医学的に安定した状態で、可能な限りご自宅でご家族と一緒にになれる様にサポートし、具合が悪くなった際には迅速に対応できる様にしています。

小児在宅支援研究会の事務局として活動しています。

国際保健部門

過去にエジプトやベトナムなどの東南アジアへの医療支援や、小児国際保健セミナーを毎年開催しています。また、JICAよりの国際緊急援助隊等災害支援のみでなく、東日本大震災災害支援・熊本地震支援も行っています。

◆これから ～こども病院へ～

埼玉医大病院（毛呂山）小児科との連携が強化され、お互いの特色を生かしながらオール埼玉医大として埼玉県の小児医療を支えていく所存です。

さらに今まで通りの他科との連携に加えて、小児在宅支援施設やNICU・PICUの設立により全てを統合して「小児病院」としての組織に生まれ変わります。この度、埼玉県立小児医療センターに続いて、県内2番目のこども病院として今年度より認可されました。これにより国や自治体からのサポートが今まで以上に受けることができ、なおかつ病院内外・県内外の医療機関との連携が強化されます。

◆最後に

小児科医は必要な点滴や治療を行うことは出来ませんが、治すのは本人の力です。本人が力を発揮出来るために我々ができるのは医療的なサポートに限られており、ご家族のサポートは必要不可欠です。大切なお子様、お孫様が家族と笑って暮らせるために、我々小児科医とご家族が一緒になって病気に向き合う事が大切と考えます。



埼玉医大病院（毛呂山）小児科との合同検討会にて

総合医療センター開設30周年を迎えて

総合医療センター記念式典事務局

当医療センターは、昭和60年の開院以来、昨年度30周年の節目を迎え、平成28年2月27日（土）川越プリンスホテルにて、埼玉県上田清司知事をはじめ多数のご来賓の方々にご臨席賜り30周年を祝う会を開催することが出来ました。

当医療センターでは、開院以来、地域の医療活動を支える立場として、地域の医療機関との協力の基に今日を迎えることが出来、慶びとともに、皆様には感謝申し上げる次第です。また、平成25年には、埼玉県で唯一の総合周産期母子医療センターとして、増床を行い、昨年度は高度救命救急センターの更なる充実のために、日本で9番目の小児救命救急センターを含めた、新棟が完成いたしました。

私達、総合医療センターの職員一同、更なる地域

医療への貢献、地域の皆様から信頼される医療機関となるよう邁進していく所存であります。



当院医師が人命救助に協力し感謝状を贈呈される！

平成28年4月15日、川越市霞ヶ関東地内（自宅前）において埼玉医科大学総合医療センター人工腎臓部医師 小川智也先生が心肺停止状態に陥り生命の危機に瀕していた方に対し、迅速的確な救護行為を行ったとして、川越西消防署から感謝状を授与されました。

感謝状の贈呈式は、28年5月11日に埼玉医科大学総合医療センターに於いて堤晴彦病院長の同席の下、厳粛に行なわれました。



不妊症看護認定看護師のご紹介

青山 京子

自己紹介

私は産婦人科外来に所属しております青山京子と申します。不妊症看護を専門とする教育機関の研修を経て、日本看護協会の認定審査による資格を取得後、2015年より不妊症看護認定看護師として従事しております。

不妊症看護認定看護師とは

不妊症看護認定看護師とは、生殖にまつわる問題を抱えている夫婦およびその家族を対象に、検査や治療について必要な情報提供や相談を行い、治療について自己決定できるような援助を行います。また、生殖医療に関わる看護職者へ教育や指導、相談に応じたり、より質の高い医療を推進するため、医師、胚培養士、心理士などの他職種と協働し、生殖医療チームの調整を図るなどの役割があります。

不妊症看護認定看護師2年生

生殖医療は高度な治療を受けたからといって必ずしも患者さんの希望が叶えられるものではありません。患者さんの背景も多岐にわたり、看護ケアの方法は患者さんごとに異なり、数学のように決められた答えを導き出せるものではありません。私はまだまだ2年目の認定看護師ですので、患者さんの満足のいくような看護ケアレベルには達して



おらず、日々患者さんと触れ合う中で、患者さんの様々な悩みや不安、葛藤に気づかされる毎日です。しかしながら、助産師の経験もあることから、他の看護師よりも一歩先をみて考えられるような認定看護師であるのではないかと思います。

患者さんとその家族が治療に関する決定の主体・中心であり続けるために

検査説明や排卵誘発剤の注射を行う時など、診察室から場所を変えて患者さんと2人きりになった際に「専門的なことが多く、難しくてよくわからなかった」、「なかなか言いづらいし、聞きづらくて…」、「先生には～って言われたけど、実際のところどうしたら良いのかわからない」と話される方がいらっしゃいます。また、通院患者数も多く、わずかな時間でしか接することのできない外来看護の中で介入の必要性があるかを見極めなければなりません。患者さんに積極的に触れ合う機会もまだ少ないので、もっと一人一人の患者さんと真摯に向き合い、その中で患者さんにとって一番いい方法を一緒に考えていくのが私の役割だと強く思っています。

検査や治療に伴う悩み、心身の苦痛や不調、今更聞けない検査や治療の詳細、医師やその他生殖医療従事者への要望など、どうぞ気兼ねなくお声掛けください。



リブロミーティングの様子

がん放射線療法看護認定看護師のご紹介

吉田 和代

私は、病棟で看護師として看護実践してきたなかで放射線療法中のケア困難事例があったことをきっかけに、がん放射線療法看護認定看護師を目指し2014年に資格を取得しました。今は所属を病棟から放射線腫瘍科外来に変え、患者さんの治療の計画を把握したうえで治療の再現性向上に努め、苦痛を最小限に治療を完遂していただくための支援を行っています。

近年がん患者の増加に伴って放射線治療も幅広く進歩し、多くの患者さんが放射線治療をうけられて



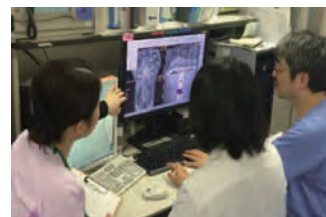
います。総合医療センターでも、2005年約540名であった年間治療患者数は2015年には約850名と増加の傾向をたどっています。放射線治療を行う患者さんに関わるなかで、まだ患者さんにとって放射線治療はイメージがしづらいものであり、認識の違いがあることも分かりました。そのため、患者さんの抱えている不安や疑問に対し、正しい知識を情報提供していくことで安心して放射線治療を開始していただいています。

治療の目的や期間などから患者さんの身体的・精神的・社会的な背景は変わります。入院で治療をする患者さん、仕事を継続しながら…子育てをしながら

ら…様々な状況で通院治療をする患者さんがいます。放射線治療は週5日毎日の治療になるため、患者さんが負担なく予定期間通院できるように、治療環境を整えることも役割のひとつです。その他、治療中の副作用症状に早期に対応していくとともに、多職種の専門スタッフとも連携し患者さんの個別ケアにつなげています。また、治療中の不安や思いを話せる環境と時間を確保し、安心して治療を継続していただいています。

総合医療センターで放射線治療を行う患者さん

が、安全・安楽な治療を安心して継続していただくことができるように、多くのスタッフががん放射線療法看護について興味関心を持ち現場での看護実践に繋げていくことが必要となります。今後の総合医療センターのがん放射線療法看護がより充実したものになるように、今後自身の活動の場を広げていきたいです。



健康に役立つお話

診療サービス委員会

皆様に喜んで聞いていただける内容を計画しました。
お時間が許す限りご参加ください。お待ちしております。

<7月の予定>

日時	場所	講師	内容
7月未定 1回目 11:00～ 2回目 14:00～	1回目 2階ロビー 2回目 1階ロビー	皮膚科医師 人見 勝博 先生	夏に多い皮膚疾患と予防法
7月28日(木) 1回目 11:00～ 2回目 14:00～	1回目 2階ロビー 2回目 1階ロビー	訪問看護師 池上 厚子 先生	在宅でもできる 緩和ケアのお話し

第8回地域がん診療連携拠点病院 市民公開講座

基調講演

「世界にひとつだけの健康エンターテイメント
唄って禁煙 笑って卒煙 踊って救命」

日時： 7月16日（土）午後2時～4時

場所： ウェスタ川越 2階 活動室1・2

（川越市新宿町1-17-17）

入場無料 先着100名（要申込）



講師：来馬明規 先生
巣鴨とげぬき地蔵高岩寺住職
循環器内科医

お申し込み先：がん診療支援室 TEL/FAX：049-228-3455（直通）

月曜日～金曜日の午前9時～午後5時 締め切り7月15日（金）まで

☆ なるべく公共交通機関をご利用下さい。駐車場（有料） ☆

「平成28年度診療報酬改定について」

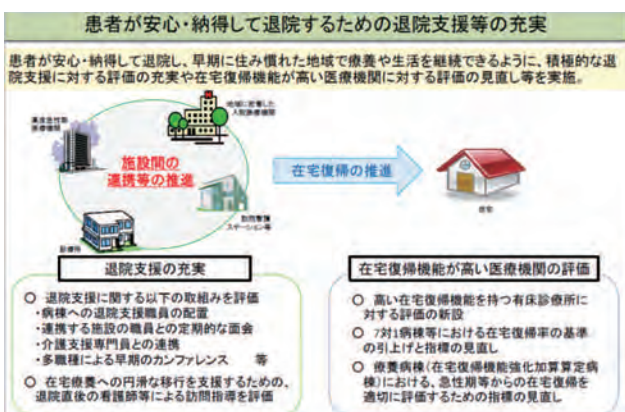
事務部 医務課 永島 松男

平成28年4月1日に診療報酬の改定が施行されました。

改定に伴い、患者さんの負担金額が変わりましたので、ご承知おきください。負担金額の変更点やご不明な点につきましては、本館1階医務課窓口へお問い合わせください。(入院医療費に関するお問い合わせは入退院窓口、外来医療費に関するお問い合わせは⑤支払窓口)

今回の改定における4つの基本視点は次の通りです。

- I. 地域包括ケアシステムの推進と医療機能の分化・強化、連携に関する視点
- II. 患者にとって安心・安全で納得できる効果的・効率的で質の高い医療を実現する視点
- III. 重点的な対応が求められる医療分野を充実する視点
- IV. 効率化・適正化を通じて制度の持続可能性を高める視点

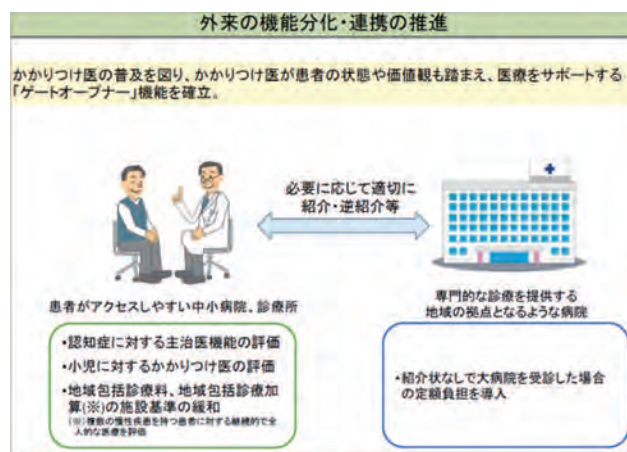


また、今改定における基本的考え方として、平成26年度改定の結果を踏まえ「病床の機能分化・連携」を進展する。外来医療や在宅医療については「かかりつけ医機能」の一層の強化を図ることが必要とされています。これは各病院の機能や地域毎の医療需要を推計し、将来あるべき医療提供体制を実現するための構想のひと

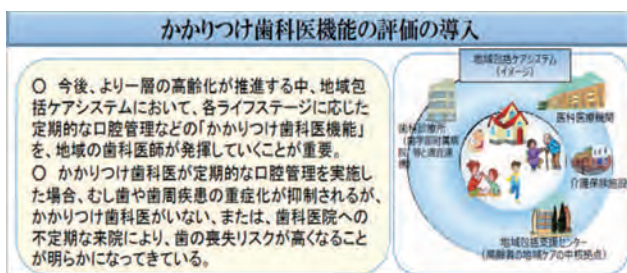
つです。

具体的には当院のような大学病院(高度急性期機能の病院)は本来の機能、役割を自覚、自己評価を行うと共にその役割を担い、急性期の患者さんに対し状態の早期安定化に向けて、診療密度が特に高い医療を提供することとされています。

外来医療においては地域医療を担う、かかりつけ医からの紹介状を持参のうえでの受診を推奨されています。なお、当院では4月より初診時に紹介状なしで受診した場合の初診時保険外併用療養費が5,400円に変更となりました。(初診時保険外併用療養費は平成8年4月1日より健康保険法の改正により施行されたもので、医療機関の機能分担推進を目的として厚生労働省により制定された制度です。)



歯科では一定の基準を満たした「かかりつけ歯科医療機能」を持った歯科医師によるむし歯の重症化予防、歯周疾患の重症化予防、口腔機能低下の重症化予防を目的として歯を喪失しないための評価が導入されました。



その他として入院時食事療養費において1食当たりの標準負担額が360円に変更となりました。ご理解の程、お願いします。(ただし、低所得者I、II、小児慢性等又は指定難病患者さんは負担額が据え置かれました)

かるがもの集い

周産期センター

こんにちは。今回は、かるがもの集いについて紹介したいと思います。この集いは、当院で出産されたママと赤ちゃんを対象に毎回違ったテーマで月に1度行われています。近年、核家族が多く、ママ同士の交流の機会も少ないため、ママと赤ちゃんが交流できるような会になればと思い運営しています。テーマは、主に4つに分けており、ひとつずつ紹介していきます。

一つ目の離乳食のすすめ方では、管理栄養士が実際にどのように離乳食をすすめていけばよいか視覚的にもわかりやすくお伝えしており、これから離乳食をはじめの方にもおすすめです。

二つ目は、赤ちゃんへのタッチケアです。臨床心理士がタッチケアの方法をお伝えし、実際にママパパが赤ちゃんのマッサージを行います。マッサージされている時の赤ちゃんの様子は、気持ちよさそうにしている赤ちゃんがいたり、大泣きしている赤ちゃんがいたり様々で見ているスタッフも癒されます。マッサージは赤ちゃんやママパパにとって取り入れやすいスキンシップの方法なので、マッサージの仕方を知ってご自宅でもしていきたいという声が多く聞かれています。

三つ目は、乳幼児の病気や予防接種についてです。新生児科医師が乳幼児期にかかりやすい病気や発熱時の対応などをお伝えしています。子育てがはじめてのママパパにおすすめです。

四つ目は、アロマでリラックスです。助産師や看護師がアロマオイルの特徴や使用方法、マッサージの手順をお伝えし、実際にママ同士でハンドマッサージを合っています。ローズやグレープフルーツ、ラベンダーの中から好きな香りを選んでいただいています。香りに加え、ゆったりしたマッサージをすることで、子育ての疲れを癒してリラックスできるような時間を過ごせたらと思い、行っています。

かるがもの集いでは、お話を聞きながら授乳したり、オムツを替えたりすることもできるので、自由にリラックスして参加していただけます。また、お話の後は、マットの上でくつろぎながら輪になってハーブティーを飲みながら育児についてのフリートークの時間を設けています。いろんな月齢の赤ちゃん達が集まるので、先輩ママからアドバイスが聞けたり、同じ悩みを共有できたりもします。このかるがもの集いからママ友の輪が広がればいいと思います。私たちも、退院後のママとお話することができたり、赤ちゃんの元気な姿が見ることができ、励みになっています。

今回はハンドマッサージの手順の一部を簡単に紹介

します。

- ①好きな香りのオイルを選びます。
- ②オイルを手にとり、手の平でよく温めます。
- ③腕全体を、手のひら全体を使って手首から肘に向けてなで上げ、手首まで軽くなでて戻ります。
- ④手首の骨を円を描くようにマッサージしていきます。できるだけゆっくりした動きでマッサージします。
- ⑤手の甲の骨の間を親指で手首方向にマッサージします。
- ⑥指を1本ずつ左右に回転させながら関節まで移動し、関節を押します。
- ⑦腕全体を、手のひら全体を使って手首から肘に向けてなで上げ、手首まで軽くなでて戻ります。



5月5日はこどもの日（端午の節句）です

栄養部 一木 春那

【端午の節句の食べ物】

こどもの日「端午の節句(節供)」は、男の子の誕生と健やかな成長を祈る行事です。

初節句(男の子が生まれて初めての節句)にはちまきを、2年目からは柏餅を食べます。



●ちまきの由来

昔、中国で屈原という賢人を弔うため、彼の命日である5月5日に供物として竹筒に米を入れたものを川に流していました。しかし、いつも屈原のもとに届く前に供物が龍に盗まれてしまいます。そこで、龍が苦手としている楸樹(れんじゅ)の葉で米を包み、邪気を払う五色の糸で縛ったものを川へ流したため、無事に屈原のもとに供物が届くようになったのです。これが始まりとなって、中国では5月5日にちまきを作って災いを除ける風習ができ、日本に伝来しました。ちまきに結んだ五色の糸(赤・青・黄・白・黒)は、子供が無事に育つようにとの魔よけの意味を込め、鯉のぼりの色のもととなっています。

●柏餅の意味

柏の葉は、新芽が出ないと古い葉が落ちないという特徴があります。それを「子供が産まれるまで親は死なない」＝「家系が途絶えない」という縁起に結びつけ、「子孫繁栄」の願いが込められています。

参考文献：暮らしの歳時記<http://allabout.co.jp/>

今年は手作りしてみませんか？

簡単にできるミニ柏餅レシピをご紹介します！

【材料】 (2個分)

切り餅	1個
水	小さじ1
砂糖	小さじ1
あん	小さじ2
柏の葉	2枚

【作り方】

1. 切り餅に小さじ1杯の水をまぶし、電子レンジ(600W)で40秒温める。硬い部分が残る場合は、更に10秒ずつ温める。
2. 餅が熱いうちに砂糖を加え、よく練る。
3. 手を水でぬらし、餅の1/2をとって丸めて柏の葉に広げる。
4. 餅の真ん中にあんを乗せ、餅を半分にたたんで形を整える。

完成！



☆時間を置くと硬くなりやすいですが、電子レンジで10～20秒ほど温めると再び柔らかくなります。

栄養成分表示 (1個あたり)

・エネルギー	73kcal	・炭水化物	14.0g
・たんぱく質	1.5g	・ナトリウム	0.5mg
・脂質	0.2g	(食塩相当量0.0g)	

放射能と放射線

中央放射線部



RT JOURNAL

放射線

2015

vol.7

ポータブル

重症度が高く、撮影室に降りてくる事が出来ない入院患者様のレントゲン撮影を、病室内で行います。また、手術室での術前・術中・術後の撮影も行っています。

当院では2013年9月より、撮影装置に最新の“FPD(フラットパネルディテクタ)”を採用し、従来に比べ、半分の被ばく線量で、より高精細な画像を提供できるようになりました。

また、現状では実現していませんが、院内の無線環境を整備する事で依頼医への出来るだけ早い画像の提供を目指しています。



ポータブル撮影装置

編集後記

RTジャーナルもVol7となりました。RTジャーナルを作成する際、伝える事の難しさを痛感し、学生時代の先生方の偉大さを改めて感じております(笑)。

しかし、仲間とRTジャーナルを作成する事を楽しく感じている自分がいることにも気がきました。

今後もどんどんRTジャーナルを作成していきますので、今後もお読みいただけたら幸いです!!

クイズ



何が写っているかな？

放射線の量と単位

放射線に関する単位については皆さんが聞き慣れたものから聞き慣れていないものまで様々なものがあります。今回は一部ではありますが紹介したいと思います。

照射線量 C/Kg

旧単位 R(レントゲン)

$$1R = 2.58 \times 10^{-4} \text{ C} \cdot \text{Kg}^{-1}$$

吸収線量 Gy(グレイ)

旧単位 rad(ラド)

$$1\text{Gy} = 100\text{rad}$$

実効線量 等価線量

Sv(シーベルト)

旧単位 rem(レム)

$$1\text{Sv} = 100\text{rem}$$

放射能 Bq(ベクレル)

旧単位 Ci(キュリー)

$$1\text{Ci} = 3.7 \times 10^{10} \text{ Bq}$$

放射線の単位の前に μ やmといった記号を目にしたことはありませんか？

μ (マイクロ) 10^{-6} (0.000001)

m(ミリ) 10^{-3} (0.001)

K(キロ) 10^3 (1000)

M(メガ) 10^6 (1000000)

例えば...

$$5\text{mGy} = 0.005\text{Gy} \text{ となります。}$$

ちなみに『メガ盛り』の『メガ』はここからきています。



駐車場のご利用について

総務課

埼玉医科大学総合医療センターでは、以下のとおり駐車場を有料とさせていただいております。
何卒ご理解・ご協力の程お願いいたします。

■来院者駐車場料金体系

外来患者さん	入庫から1時間無料	8時間まで 300円	駐車券を病院内にお持ちになり、必ず検印を受けてください。
一般の方（面会含） ※外来患者さん以外		以降30分ごと 150円	検印はございません。

■検印の受付時間・場所

対 象	受付時間	場 所
外来患者さん	8時30分～17時30分	1階 医務課会計窓口
	17時30分～ 8時30分	高度救命救急センター 1階 守衛室
※入庫時にお取りいただいた駐車券をご呈示の上、検印を受けてください。		

※尚、入院患者さんの駐車はお断りしております。

■駐車場地図



外来受診について

初めての方

- * 診療日 月曜～土曜
(日曜・祝日・年末年始を除く)
- * 診療受付時間 8:30 ～ 11:00
- * 診療時間 9:00 ～ 17:00

再来の方

- * 診療日 月曜～土曜
(日曜・祝日・年末年始を除く)
- * 診療受付時間 8:30 ～ 11:00
(予約の方を除く)

予約以外の11時以降の受付はありません。

初めての方、再来の方も午後まで診療を行ってありますが11時以降の受付はできません。(再来で予約のある方を除く) また、診療科や曜日によって受付できない場合もあります。

面会者へのお願い

- ・ 咳、熱などの症状ある方やお子様の面会はご遠慮ください。
- ・ 必ず病棟の看護師に面会の許可を得てください。

アクセス

電車

池袋より東武東上線・東京メトロ有楽町線30分
川越駅下車
西武新宿駅より西武新宿線60分
本川越駅下車
大宮駅よりJR埼京線20分
川越駅下車
大宮駅よりJR高崎線9分
上尾駅下車
※下車後、バスまたはタクシーでおいでください。

バス

川越駅東口より東武バス
(上尾駅西口・平方・埼玉医大・川越運動公園行き)
(25分)埼玉医大下車
JR高崎線上尾駅西口より東武バス(川越駅行き)
(20分)埼玉医大下車
市内循環バス「川越シャトル」40系統 42系統 43系統

車

関越自動車道川越インターより8km、約15分
県道51号線(川越上尾線)沿い

保険証確認のお願い

当院では受診の際、毎回「保険証」の確認をさせていただきます。

その理由として、保険の資格喪失や有効期限切れが数多く発生し、保険者(会社・市町村等)に誤った請求をしてしまうからです。

会計受付時にファイルに入れてご提示ください。また、保険証を変更された際には速やかにお申し出ください。

ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。



表紙写真：新河岸川の花見船

編集後記

5月に入り、暖かくなって参りました。草木が青々と新緑がとてもまぶしくレジャーや散歩するにはとても良い季節です。しかし、5月の紫外線は1年間のうち一番強いと言われております。お出かけの際は、帽子を被るなどして紫外線対策、熱中症対策にお気を付けください。

さて、桜の咲く季節になりますと市内に流れている新河岸川の桜並木も市内の名所の1つであります。この季節に限り、花見船が運行され川舟に乗って川面に映える桜を眺めたるのも良いかもしれませんね。

いつもと違ったお花見を楽しんでみてはいかがでしょうか。

編集員

埼玉医科大学総合医療センターニュース 第43号

発行年月日 平成28年5月31日
発行 埼玉医科大学総合医療センター
発行責任者 病院長 堤 晴彦
連絡先 医療センターニュース編集局(医務課内)
印刷 ヨーコー印刷(株)